



岐阜県鋳工業指数(平成24年6月分)

生産指数 前月比 7.4%の低下

1 概況

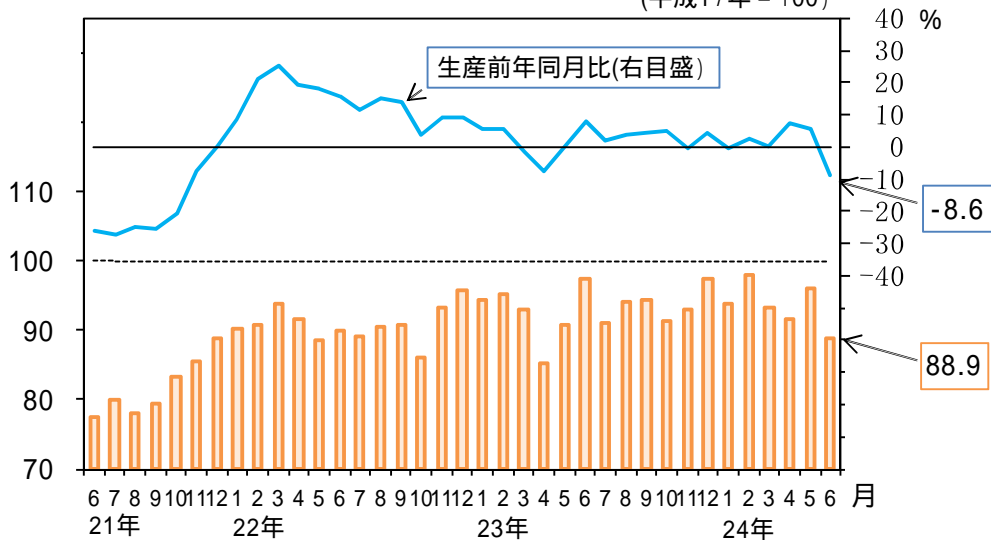
平成24年6月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数で見ると、鉄鋼業、非鉄金属工業が上昇したものの、一般機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は7.4%減と低下に転じた。また、出荷指数は9.8%減と3カ月ぶりに低下し、在庫指数は8.2%増と上昇に転じた。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は8.6%減となり、5カ月ぶりに前年を下回った。

(平成17年 = 100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	88.9	7.4	91.5	8.6
出荷	90.2	9.8	92.8	7.2
在庫	128.4	8.2	126.7	14.0

鋳工業指数(生産)推移 (平成17年 = 100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、橋りょう、軽金属板製品（産業用品）等が増加したものの、ボルト・ナット、超硬チップ等が減少したため、3.5%減と3カ月連続で低下した。また、出荷は3.9%減と低下に転じ、在庫は73.5%増と上昇に転じた。

機械工業の生産は、旋盤、金型等が増加したものの、電子回路基板、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が減少したため、10.5%減と低下に転じた。また、出荷は15.7%減と低下に転じ、在庫は7.1%増と上昇に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、不定形耐火物、構造材（耐摩耗・耐食材）が増加したものの、生コンクリート、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、8.2%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は11.8%減と低下に転じ、在庫は2.4%増と3カ月連続で上昇した。

化学工業の生産は、医薬品、メラミン樹脂等が減少したため、0.3%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は0.4%減と前月に引き続き低下し、在庫は9.1%増と5カ月連続で上昇した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、パイプが増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したため、1.2%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は1.2%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は4.0%増と4カ月ぶりに上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	95.0	3.5	10.6	103.0	3.9	24.9	209.6	73.5	139.5
機械工業	92.2	10.5	9.3	91.5	15.7	10.5	133.2	7.1	1.9
一般機械工業	77.2	6.8	19.9	95.8	15.7	18.0	-	-	-
電子部品・デバイス工業	86.3	12.8	4.6	88.1	12.4	4.5	-	-	-
輸送機械工業	117.2	5.7	1.7	105.7	8.1	4.5	-	-	-
窯業・土石製品工業	78.1	8.2	4.3	71.0	11.8	8.5	94.2	2.4	10.9
化学工業	95.7	0.3	34.8	93.8	0.4	32.6	111.7	9.1	10.7
プラスチック製品工業	103.2	1.2	2.2	107.8	1.2	0.2	88.6	4.0	4.7

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

